

三角形の垂心の重心座標表現

以下「ベクトル AB 」などを $\overrightarrow{AB}$ で表すことにする。

まず、結果だけ述べておこう。

三角形 ABC を含む m 次元ユークリッド空間を E^m ただし $m \geq 2$ としておく。

このとき E^m の任意の点 P にたいして、

(あ) 三角関数表示では

$$\overrightarrow{PH} = \cot B \cot C \overrightarrow{PA} + \cot C \cot A \overrightarrow{PB} + \cot A \cot B \overrightarrow{PC}.$$

・・・(1)

となる。ここで、2008.8.26 の「ブログ」で示したように、

$$\cot B \cot C + \cot C \cot A + \cot A \cot B = 1 \cdots (2)$$

なので (1) は

「垂心 H のベクトルによる重心座標表現」である。これは直角三角形でも成立する。

例えば $\angle A = 90^\circ$ の直角三角形では「垂心 H 」は明らかに頂点 A であるが、

$\cot 90^\circ = 0$ なので $\cot A = 0$
すると上の公式(1)から

$$\overrightarrow{PH} = \cot B \cot C \overrightarrow{PA} \cdots (*)$$

ところが $A = 90^\circ$ ならば $B + C = 90^\circ$ なので、

$$\cot B \times \cot C = \cot B \times \cot (90^\circ - B) = \cot B \tan B = 1$$

となる。
よって

$$\overrightarrow{PH} = \overrightarrow{PA} \cdots (\#)$$

となり、これから
「垂心 H 」=「頂点 A 」と正しく求まる。

(い) 「内積」を用いた表示では、

$$\overrightarrow{PH} = \frac{1}{4S^2} \left(yz \overrightarrow{PA} + xz \overrightarrow{PB} + xy \overrightarrow{PC} \right) \cdots (3)$$

ここに、 $x = \left(\overrightarrow{AB}, \overrightarrow{AC} \right), y = \left(\overrightarrow{BA}, \overrightarrow{BC} \right), z = \left(\overrightarrow{CA}, \overrightarrow{CB} \right)$ である。

ただし、 $(\overrightarrow{AB}, \overrightarrow{AC})$ は $\overrightarrow{AB}$ と $\overrightarrow{AC}$ の「内積」を表すものとする。

$$yz + xz + xy = 4S^2 \dots (4)$$

が成立する(下に証明がしてある)ので、(3)は「ベクトルによる重心座標表現」である。

また、 S は三角形 ABC の面積である。

(う)3辺 a, b, c を用いた表示では、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{PH} &= \frac{1}{16S^2} (c^2 + a^2 - b^2) (a^2 + b^2 - c^2) \overrightarrow{PA} \\ &+ \frac{1}{16S^2} (a^2 + b^2 - c^2) (b^2 + c^2 - a^2) \overrightarrow{PB} \\ &+ \frac{1}{16S^2} (b^2 + c^2 - a^2) (c^2 + a^2 - b^2) \overrightarrow{PC} \dots (5) \end{aligned}$$

ここで ヘロンの公式から、

$$16S^2 = (a + b + c) (b + c - a) (c + a - b) (a + b - c) \dots (6)$$

である。

<注意>：(う)は(い) から導けるのである。

まず、定義から内積の変形を用いて $x + y = c^2, x + z = b^2, y + z = a^2 \dots$
 $\cdot (7)$ が成立する。

例えば $x + y = c^2$ は次のように証明される。

$$\begin{aligned} x &= (\overrightarrow{AB}, \overrightarrow{AC}) = (-\overrightarrow{BA}, \overrightarrow{BC} - \overrightarrow{BA}) \\ &= (-\overrightarrow{BA}, \overrightarrow{BC}) + |\overrightarrow{BA}|^2 = -y + c^2 \end{aligned}$$

となるから $x + y = c^2$ である。

よって

$$\begin{aligned} yz + xz + xy &= z(x + y) + xy = (b^2 - x) c^2 + x(c^2 - x) = b^2 c^2 - x^2 \\ &= |\overrightarrow{AC}|^2 |\overrightarrow{AB}|^2 - (\overrightarrow{AB}, \overrightarrow{AC})^2 = 4S^2 \end{aligned}$$

すなわち $yz + xz + xy = 4S^2 \dots (4)$ が成立するのである。

また 余弦定理から

$$\begin{aligned} x &= \left(\overrightarrow{AB}, \overrightarrow{AC} \right) = \frac{(AB)^2 + (AC)^2 - (BC)^2}{2} \\ &= \frac{c^2 + a^2 - b^2}{2} \dots (8) \end{aligned}$$

同様に

$$\begin{aligned} y &= \left(\overrightarrow{BA}, \overrightarrow{BC} \right) = \frac{(BA)^2 + (BC)^2 - (AC)^2}{2} \\ &= \frac{c^2 + a^2 - b^2}{2} \dots (9) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} z &= \left(\overrightarrow{CA}, \overrightarrow{CB} \right) = \frac{(CA)^2 + (BC)^2 - (AC)^2}{2} \\ &= \frac{a^2 + b^2 - c^2}{2} \dots (10) \end{aligned}$$

となるからである。したがって (あ) または (い) を覚えていればよい。